

8月のごみ収集日について（お知らせ）

8月のごみ収集日程は、下記のとおりとなっていますので、ご確認の上、きちんと分別して出してください。

◆ 8月のごみ収集日予定表（日付は8月の収集日です）

地区名 ごみ区分	越 河 斎 川 大 平	大鷹沢 白 川 小下倉	大鷹沢田中	福 岡 小 原	市街東北本線 東 側	鷹 巣	市街東北本線 西 側
ペットボトル (第1曜日)	1日(火)	7日(月)	4日(金)	3日(木)	4日(金)	7日(月)	2日(水)
びん類 (第2・第5曜日)	8日(火) 29日(火)	14日(月)	11日(金)	10日(木) 31日(木)	11日(金)	14日(月)	9日(水) 30日(水)
缶 (第3・第5曜日)	15日(火) 29日(火)	21日(月)	18日(金)	17日(木) 31日(木)	18日(金)	21日(月)	16日(水) 30日(水)
プラスチック (第3曜日)	15日(火)	21日(月)	18日(金)	17日(木)	18日(金)	21日(月)	16日(水)
もやせないごみ (第4曜日)	22日(火)	28日(月)	25日(金)	24日(木)	25日(金)	28日(月)	23日(水)
紙 類	火	月	金	木	金	月	水
	1・8・15・ 22・29	7・14・ 21・28	4・11・ 18・25	3・10・17・ 24・31	4・11・ 18・25	7・14・ 21・28	2・9・16・ 23・30
もやせるごみ	火・金	月・木			月・水・木		火・水・金
	1・4・8・ 11・15・ 18・22・ 25・29	3・7・10・14・17・21・24・28・ 31			2・3・7・9・10・14・ 16・17・21・23・24・ 28・30・31		1・2・4・8・9・ 11・15・16・ 18・22・23・ 25・29・30

○不忘・川原子地区のもやせるごみは、毎週水曜日に収集します。

○ごみは、必ず当日の午前8時30分までに集積所に出してください（収集車が回収する時刻に合わせての搬出や前夜出しはしないでください）。

○びんは、色により3種類（①透明、②茶色、③その他）に分けて、それぞれ資源の袋（赤）に入れて出してください。

「資源物の持ち去り厳禁！」にご協力ください

市の条例により、ごみ集積所からの資源物（ペットボトル・びん・缶・紙類）の持ち去り行為が禁止されました。

そこで、次のことをお願いします。

1. 集積所の資源物は市の所有物です。無断持ち去りは絶対にやめてください。
2. 持ち去る人を発見したら車のナンバーを控えて、市に通報してください。
3. 持ち去り者が判明した場合、警察と協同で対処します。

なお、不法なごみが投棄されないよう、地域の集積所は地域の皆さんで管理願います。

☆飼えない犬・猫の引き取り日のお知らせ

- 日時 8月10日(木)、31日(木) 11:00～11:30（時間厳守）
- 場所 健康センター前

〈注意事項〉犬を登録している方は、鑑札(小判形)を持参してください(保健所の職員が来るまで待っていただくことがあります)。
猫の場合は、必ず麻袋(土のう袋は不可)など丈夫な袋に入れてください。また、届け出書が必要となりますので印鑑をご持参ください。

☎生活環境課 ☎22-1314

食中毒を予防しましょう

今年も食中毒の心配な季節になりました。年間の発生件数のうち、3分の2が6～9月の暑い時期に集中しています。食中毒菌の特性を知り、食中毒を防ぎましょう。

■主な食中毒菌の特徴と予防法

●腸炎ビブリオ 魚介類に付着する代表的な菌です。真水や熱に弱いので、魚介類は流水でよく洗うか十分に加熱して食べましょう。

●サルモネラ 鶏卵が原因食品となることが多いので、鶏卵は冷蔵庫に保管しましょう。

●カンピロバクター 食肉に付着している細菌です。食肉は十分に加熱して食べましょう。

●黄色ブドウ球菌 傷口などの化膿したところに多くいる細菌です。手指の消毒を十分に行いましょう。

■食中毒予防の3原則

●菌をつけない 調理や食事前には手をよく洗うとともに、包丁やまな板もよく洗いましょう。

●菌を増やさない 食品を室温で放置せず、冷蔵庫などで冷やして保存し、できるだけ早く食べましょう。また、冷蔵庫を過信しないよう注意しましょう。

●加熱による殺菌 加熱は食品の中心部まで、目安は75℃1分以上です。

☎宮城県仙南保健所環境衛生部 ☎0224-53117

議会を傍聴しませんか

9月の市議会定例会は9月5日（火）開会予定です。詳しい日程は、議会運営委員会で決定しますので、議会事務局までお問い合わせください。また、白石市ホームページの「市議会のページ」でもご覧いただけます。

☎議会事務局 ☎22-1351

終戦当時の海外引揚者やそのご家族の方々へ「通貨・証券」などを返還しています。

税関では、海外からの引き揚げの際に預かりした次の通貨・証券などをお返ししています。

●終戦後、外地から引き揚げてこられた方が、外地の集結地において、総領事館などに預けられた証券などのうち日本に送還されたもの

●上陸地の税関、海運局に預けられた通貨・証券など

返還の申し出は、預けられたご本人はもとより、ご家族の方でも結構です。

また、ご家族の方におかれては、「終戦後に帰港した場所については聞き覚えていたが、当人のものと思われる物件はないか」などのお問い合わせでも結構です。

☎横浜税関業務部税関相談官室 ☎045-212-6000

☎横浜税関仙台塩釜税関支署総務課 ☎022-259-4306

人命救助に活躍した白石スキー場が白石消防署長表彰を受けた

白石消防署では、人命救助に貢献したNPO法人不忘アザレア・白石スキー場の功績をたたえ、表彰しました。



▲7月7日、白石消防署で行われた表彰式（写真左が遠藤一夫・白石スキー場長）

6月25日、友人と2人で不忘山の登山を楽しんでいた柴田町の女性に右足を骨折する事故が発生。視界不良の影響で防災ヘリコプターが出動できないなど、救出作業の遅れが懸念された中、事故を聞きつけた同スキー場では、情報の収集や負傷者の搬送などに積極的に協力し、短時間での救出に貢献しました。

昨年12月の表彰規程制定後、白石市では初めてとなる今回の表彰。石川幸治・白石消防署長から表彰状と記念品を贈られた遠藤一夫・白石スキー場長は「今回の表彰を大変誇りに感じています。今後このような現場に遭遇したときには積極的に協力したいと思います」と話していました。

—— 思いやりのある良質で信頼される医療を目指して ——

公立刈田綜合病院紹介

6月28日、宮城県内で仙台市以外の病院では初めてとなる、生体腎移植手術を行いました。

先進的で高度な医療を提供できる 特色ある病院づくり

今回刈田病院で行われたのは親子間の生体腎移植手術です。慢性腎不全の20代の患者さんに、60代の父親の腎臓を移植するというものでした。

腎臓は血液をろ過し、体に必要なものは残し不要なものは体の外に捨てる大切な役割を果たします。腎不全は腎の機能が低下し、体内の老廃物などを十分排せつできなくなった状態をいいます。次第に腎の働きが低下してくる慢性腎不全は、回復の見込みがありません。慢性腎不全の治療には人工透析や腎移植などの方法がありますが、このうち人工透析は日常生活に制約が多いのに比べ、腎移植は根治的療法です。

移植手術は岡崎院長をリーダーに約20名の医療スタッフが取り組み、7時間におよぶ手術を無事に終えることができました。当院では新築移転後、移植を専門とするスタッフや医療機器の充実を図りながら、診療技術のレベルアップを図ってきました。その結果、腎臓移植を初めとした高度な医療を地域の住民の皆さんに提供できるまでになりました。

また、6月からは内視鏡外科医師を常勤として迎え、痛みが少なく、回復も早い内視鏡外科手術ができるようになりました。

当院は今後も診療技術の向上はもちろんのこと、地域の病院として特色のある「きらりと光る病院」になれるよう努力してまいります。



▲移植手術の様子